

ILSI Japan 活動報告<2023>

事務局

【理事会】

1, 2 月	<p>第 1 回理事会が令和 5 年 2 月 2 日（木）に開催された。</p> <p>1. 令和 5 年通常総会審議事項・報告事項</p> <p>審議事項</p> <p>1) 2022 年事業活動報告及び決算報告書案承認の件 事務局長が各研究会、研究部会ごとに事業活動の報告をし、決算の概要を資料に基づき説明した。</p> <p>2) 2023 年事業活動報告及び収支予算書案承認の件 事務局長が各研究会、研究部会ごとに事業活動の計画及び収支予算の概要を資料に基づき説明した。</p> <p>1)、2)とも異議なく承認された。</p> <p>報告事項</p> <p>1) 本部動向 事務局長から 2023 年本部収支予算等について説明した。</p> <p>2) 広報活動資料 事務局長から広報活動資料について説明した。</p> <p>2. 報告・討議事項</p> <p>1) 第 50 回日本毒性学会学術年会での発表 事務局長が資料に基づき説明した。 積極的な対外活動を勧めるよう意見があった。</p> <p>2) その他 事務局長より年次総会、理事会の 2023 年開催日程の説明をした。</p>
3, 4 月	<p>第 2 回理事会が令和 5 年 4 月 19 日（水）に開催された。</p> <p><決議事項></p> <p>1. 新理事の選任 味の素（株）のスムリガ・ミロ氏が選任され、承認された。</p> <p>2. 理事長代行と事務局長の選任 児島理事長の辞任に伴う、次期理事長の選出は次回理事会にて実施。それまで谷口茂副理事長を理事長代行として運営することを決議した。</p> <p><討議事項></p> <p>1. 理事長選出に関して 次回理事会を対面あるいはハイブリッドにて開催しより深く論議できるよう環境を整え、結果をふまえて適任な方を理事長に選任することとした。</p>

	<p>2. 第 13 回 DOHaD 学会 2025 協賛依頼 討議の結果、協賛する方向で確認した。</p> <p><報告事項></p> <p>1. 本部動向アップデート 3月22日のアッセンブリー・ボードにおいて、前回の本部総会の赤字収支を受けて総会の再定義や次回総会開催について各支部からの分担金の提案が本部よりあった。</p> <p>2. ILSI Global Research Program の結果について 昨年、ILSI本部が各支部から募集した ILSI Global Research Program 案の内容を説明。各案は現在、専門家会議にて精査中。</p> <p>3. その他 今年10月開催の「食品開発展 2023」の協賛依頼があり昨年と同様に協賛実施。</p>
5, 6 月	開催なし。
7, 8 月	<p>第 3 回理事会が令和 5 年 7 月 12 日（水）に開催された。</p> <p><決議事項></p> <p>1. 理事選任 津金昌一郎理事の辞任により、後任に同じく国立健康・栄養研究所の瀧本秀美所長が選任され、満場一致で承認された。本人も Web 会議上で承諾した。</p> <p>● 理事長互選 前回の理事会に引続き再度の互選の結果、宮澤陽夫会長が理事長を兼任することで全員異議なく承認された。本人もその場で承諾した。</p> <p><討議事項></p> <p>1. ILSI Japan 論文投稿 担当次長より①雑誌投稿中の「TAKE 10!®の有効性を裏付ける島根大学との共同研究」、②10 月末の日本公衆衛生学会総会での発表「地域における介護予防リーダーの栄養素摂取量—同地域在住高齢者との比較」、③鹿児島大学との共同研究の「中高年期における食品（多様性）と体組成、および非侵襲バイオマーカーとの関連性についての調査」の説明があり、若干の質疑があった。</p> <p>2. 次期理事長選出、弊機構の在り方、会員勧誘活動、部会活動等についてのフリー・ディスカッション 前回到引続き、各部会活動、広報活動、グローバル組織のメリット、Codex 参加等、出席理事より種々意見をいただいた。</p> <p><報告事項></p> <p>1. 本部動向 来年開催の本部総会での議題の内容について報告した。続けて議題選出メンバーの説明があり、その中に日本人が参加してなかったのでその理由を調査することになった。</p> <p>2. 東邦大学医学部朝倉先生より「日本人の食事摂取基準」の使用実態調査への協力依頼の説明があり、理事会メンバー及び研究部会長、事務局の参加を要請した。</p>
9, 10 月	<p>第 4 回理事会が令和 5 年 10 月 11 日（水）に Web とリアル参加にて開催された。</p> <p><決議事項></p> <p>○本部理事会メンバーの選出</p>

	<p>台湾、韓国、インド、日本の4支部から候補者を選出するとの本部の指示により討議の結果、日本支部から候補者が出なかったため、台湾支部の候補者を選出することを決議した。</p> <p><討議事項></p> <p>○理事長の選出、ILSI Japan の在り方</p> <p>次期理事長の選出について、討議した結果、インダストリー側から、まず ILSI Japan の在り方について議論することが先である、との意見が出た。そのため活動内容について会員各社に簡単なアンケート調査を実施し、次回理事会にて結果を報告することになった。</p> <p><報告事項></p> <p>1. ILSI Japan 収支報告</p> <p>2023 年の基本収支見込と 2024 年基本収支予算について説明した。24 年収支については、今年より厳しいため、会費の値上げ案が出された。ILSI Japan の在り方を議論し、それに基づいて収支を見直すべきとの意見が出た。</p> <p>2. CHP 活動</p> <p>12 月の理事会の事前情報提供として ILSI Japan と CHP の経理の統合について、メリットを説明し、意見をもらった。</p> <p>3. AI 栄養・機能性研究部会共同研究講座</p> <p>来年3月に第2期を始める前に、全参加企業に今後の参加についてのインタビューをし、その結果が芳しくないことを報告した。今後の対応について意見をもらった。</p>
11, 12 月	<p>第5回理事会が令和5年12月13日(水)に Hybrid 形式で開催された。</p> <p><確認事項></p> <p>1. ILSI グローバル理事選出において、ILSI Japan は、他の3つのアジア支部とのグループになった経緯について</p> <p>2. ILSI 組織としての弱体化が指摘。コカ・コーラ社やネスレ社脱退後、ILSI 本部はどのように進めていくのか。</p> <p>3. ネスレ日本の動き</p> <p>1. ~3. すべて事務局長が回答した。</p> <p>4. 「ILSI Japan の今後」についてのアンケート結果 杉本次長が説明した。</p> <p>5. 理事長選出について 議論の結果、アカデミアから次期理事長として宮澤理事長が続投となった。</p> <p><決議事項></p> <p>1. 2023 年収支見込案 俵積田次長が説明し、承認された。</p> <p>2. 2024 年収支予算案 俵積田次長が説明し、赤字予算に反対が出て次回理事会にて再度提案することになった。</p> <p>3. CHP 経理の ILSI Japan への統合 事務局長から業務重複、繁雑さ等から統合案が説明され、承認された。</p> <p>4. AI 栄養・機能性共同研究講座第2期募集 第1期が来年3月で終了、次期講座について募集することが承認された。</p> <p><報告事項></p> <p>1. 研究部会長会議概要 2023 年活動と 2024 年活動計画が記された資料を参照いただくことで了解を得た。</p>

	2024年総会、理事会日程 事務局長が資料に基づいて説明し、総会日程につき数人の理事の出席不可が判明、再度検討することとなった。
--	--

【ILSI Japan 総会】

1, 2月	<p>令和5年通常総会が2月21日（火）午前10時よりWeb（Zoom）会議にて開催された。 正会員総数52名のうち総会出席数34名、書面表決16名であった。</p> <p>1. 審議事項</p> <p>第1号議案 2022年度事業活動報告及び決算報告案が承認された。 第2号議案 2023年度事業活動計画及び収支予算案が承認された。 質疑は以下の通り。</p> <p>DVD出版物の廃棄処分の承認経路について質問があり、保管場所及び販売不振の理由から早期処理が適切と判断し、理事会で承認をもらい、処理したと回答した。 一昨年出版した翻訳本の在庫について質問があり、注文の都度印刷し配送する仕組みにしたので在庫の問題はないと回答した。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>本部動向の説明</p> <p>2023年本部収支予算、ILSI Global Research Programの支部別及び内容別に提案件数について説明した。</p> <p>ILSI Japan 広報活動</p> <p>会員の皆様の勧誘用にILSI Japanを紹介する資料を説明した。</p>
-------	--

【事務局】

1, 2月	なし。
3, 4月	なし。
5, 6月	6月末にて、事務局長の辻本信晴氏が味の素（株）へ帰任。現CHP代表 山口隆司氏が7月より事務局長を兼任する。
7, 8月	特になし。
9, 10月	9月末に事務局次長の山越純氏がキッコーマン（株）からの出向を解かれ帰任し、同社から新たに杉本勝俊氏が10月より出向となった。
11, 12月	<p>1. ILSI 本部情報</p> <p>(1) 本部理事会開催（11/20）</p>

① 理事候補選出、② 米国・カナダ支部研究プログラム、③ 各支部における科学興味分野、④ 新規ジャーナル、⑤ 地域共同プロジェクト（中南米、東アジア、ポストバイオティクス共同プロジェクト）、⑥ 本部総会

(2) 本部事務局への問い合わせ

① 理事選出の地域分割の経緯、② コカ・コーラ、ネスレ脱退後の本部推進力の発揮について

(3) グローバル総会開催（12/7）

① Suzie 追悼、② ILSI Global 理事メンバー選出、③ 本部関連活動（本部メンバー加入、団体との協力関係、各支部主要活動、科学論文領域等）、④ ILSI Bylaws 修正、Trade mark 登録、支部協力活動、⑤ 本部総会

2. 12月未付で事務局倉井真次長が出向を解かれ、サントリー食品インターナショナル(株)に帰任した。なお倉井次長担当の「日本くすりと食品機能フォーラム」の活動は、ILSI Japan ではなく別の団体が活動を引き継ぐこととなった。